

旧浜脇中学校管理教室棟の利活用案

別府市

旧浜脇中学校管理教室棟の利活用ロードマップ

H22.2 別府市学校適正化委員会答申

浜脇中学校と山の手中学校を統合し、統合校を西小学校跡地に設置

R2.10 公共施設マネジメント推進会議

管理教室棟と体育館以外は解体
管理教室棟 **産業振興施設**として活用
体育館 災害時避難所として活用

R3.3 浜脇中学校閉校

R4.12 公共施設マネジメント推進会議

令和4年9月に実施したサウンディング調査を踏まえ、旧浜脇中学校に関する利活用方針の決定
管理教室棟 **産業振興及び地域振興施設**として整備・活用
グラウンド跡地、体育館 **スポーツ施設**として整備・活用

産業振興・地域振興施設としての具体的な方向性等を検討するため、市民ワークショップの開催決定

R5.10 第一回ワークショップ

R5.11 第二回ワークショップ

R6.3 第三回ワークショップ

結果報告会

利活用案策定

R6 実施設計

利活用に向けた具体的な計画

R7-R8 工事予定

完成後運用開始

ワークショップの実施

【目的】令和4年12月の公共施設マネジメント推進会議において決定した管理教室棟の産業振興及び地域振興施設として整備・活用する方針を基に、具体的な利活用の方向性、内容を検討するため市民の意見を聴くこと。

【メンバー】地域住民、学生、南部地区公共施設関係者、地元企業、起業家、金融機関、竹産業関係者、芸術文化関係者などで構成する16名

【開催概要】メンバーを5～6名ずつに分けた小グループでの話し合い・発表を行うことにより地域の特性を踏まえた、望ましい利活用方法に係る多様な意見を共有するなどした。

	日時	場所	参加人数	内容
第1回	令和5年10月19日(木) 午後1時30分～4時	旧浜脇中学校 管理教室棟	15名	浜脇地域の特性、課題の抽出・共有 利活用に係るアイデア出し
第2回	令和5年11月10日(金) 午後6時～9時	おひさまパーク (多目的ホール)	14名	各フロアの用途のアイデア出し
第3回	令和6年3月25日(月) 午後3時～4時15分	おひさまパーク (多目的ホール)	10名	第1回、第2回で出た意見を基に策 定した利活用案の報告

ワークショップで出た意見(まとめ)

利活用のアイデア

産業振興

竹細工(歴史的な背景)の貸しアトリエ、体験の場
大学との連携利用(ゼミ合宿など)
日本語教室、ドローンスクール、チャレンジショップ
クラフトスペース、シェア(チャレンジ)キッチン
サテライトオフィス、コワーキングスペース
サウナ、物販、飲食テナント
ネーミングライツ

地域振興

ひとまもり・まちまもり協議会事務局
地域課題解決に向けての活動や団体など
子どもから高齢者までが交流できる場所
フリースペース、カフェ
休耕地活用による食品の開発、メニューの提供

レイアウト等に関する意見

利用者を限定しない交流スペースはアクセスのよい1階が望ましい
駐車場側に出入口が必要
3階、4階は眺望を活かした使用



ワークショップの様子

ワークショップで出た意見を踏まえて

ワークショップでいただいた意見を基に、
旧浜脇中学校の役割について、南部地区全体で捉え、
他の公共施設等との差別化を図る。

旧浜脇中学校管理教室棟の利活用案策定

旧浜脇中学校
管理教室棟

おひさまパーク

- ・多世代交流健康増進複合施設
(保育所、子育て支援センター、
地域交流センター、児童館)

南部地区公民館

- ・湯都ピア浜脇(温泉、サウナ、
トレーニングルーム)
- ・料理教室

〈関連施策〉

別府市南部振興基本計画(平成30年)

「共同温泉等の地域資源を活かし

健康づくりと文化創造、魅力的な住環境の形成を通じて

南部地区に住む魅力を醸成し、次世代へとつなぐまちづくり」

旧浜脇中学校管理教室棟の利活用案

コンセプト

浜脇の歴史・文化を次世代に繋げ、地域振興を図るための

「モノづくりの拠点であり、人や企業の交流を育む場」

※「モノ」には、「作品・製品・商品」に加え「人・情報・技術・サービス」なども含む。

整備・活用の方向性

竹細工づくりの拠点

モノづくりのチャレンジの場

人や企業の交流の場

旧浜脇中学校管理教室棟の利活用案

活用の具体案

以下のような機能を整備するとともに、人や企業の交流が育まれるイベントの開催などを検討します。

方向性	活用例
竹細工づくりの拠点	アトリエ、付帯設備 など
モノづくりのチャレンジの場	クラフトスペース、チャレンジショップ など
人や企業の交流の場	オープンスペース、ギャラリー、カフェ など